

04【概要】石岡市勤労青少年ホーム個別施設計画

■基本的な考え方

- ・勤労青少年ホームは、利用者のニーズがあるため、市民のいきがいくりの場として施設を存続させる。
- ・市民のいきがいくりのための施設として運営方針の見直しを進めながら、他の類似施設との複合化を検討していく。

1. 対象施設

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造 (主たる建物)	備考
1 勤労青少年ホーム	石岡 2149 番地 3	1,528	昭和 55	R C 造	
合計		1,528			

2. 計画期間

令和2年度から令和11年度までの10年間。

3. 対策の優先順位の考え方

勤労青少年ホームは、利用者の継続したニーズがある施設です。

優先順位① 利用者にとって安心安全な施設であることを第一に考え、また利用者へのサービス向上のため、施設の老朽化等に対する修繕と設備の更新を行う。

優先順位② 利用者のニーズに応じた部屋の機能的な配置と設置当初から変化してきた利用者のニーズに応えられるよう施設の運営方針の見直しを検討する。

4. 個別施設の状態等

安全性：耐震安全性は一部確保されていません。

勤労青少年ホーム棟は、耐震診断調査において主体構造以外の設備に修繕が必要な箇所が指摘されているため早急な修繕が必要とされている。

体育館は、耐震診断調査において2階鉄骨造屋根部分に所要の耐震性能が確保されていないため、早急な修繕が必要とされている。

5. 対策内容と実施時期 下記工程表のとおり。

業務内容	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
耐震改修工事		○								
長寿命化	躯体健全性調査					○				
	長寿命化改修実施設計						○			
	長寿命化改修工事							○		

6. 対策費用

更新単価（社会教育系施設＝250千円）×施設面積（1,528.00㎡） ≒ 382,000千円

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価（大規模改修費用の単価）及び計算式（下記参照）を使用した10年間の更新費用。ただし、健全化調査や設計費用等は含まない。

7. 今後の対応方針

耐震改修工事を行い、施設の安全性を確保する。その後長寿命化改修を行い、耐用年数を伸ばす。また、運営方針の見直しや他の類似施設との複合化を継続的に検討していく。